

100年の技術と信頼を明日へ



広栄化学工業株式会社



Contents

株主の皆さまへ	01
部門別の概要	03
財務諸表	04
財務ハイライト	05
トピックス	06
株式・会社情報	10

株主の皆さまへ

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

第156期 報告書

証券コード:4367

株主の皆さまへ



代表取締役社長

津田 重典

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第156期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、前半、景気が足踏み状態で推移いたしましたが、後半には、中国、アジアの景気回復により輸出が増加し、民間設備投資も増加するなど、企業部門に好影響を与えました。一方、民間消費の回復は依然鈍く、緩やかな景気回復にとどまりました。

このような情勢のもとで、当社は一層のコスト削減に取り組むとともに、新製品・新技術開発、売価是正、拡販に注力し、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、当期の売上高は前期比5.5%減収の172億78百万円となりましたが、利益面におきましては、原燃料価格が低位に推移したことにより、営業利益は14億2百万円(前期比15.8%増益)、経常利益は13億90百万円(前期比25.9%増益)となりました。当期純利益につきましては、大阪工場に係る譲渡関連損益、事業譲渡関連損失ならびに千葉地区不要設備撤去費用等を計上した結果、11億35百万円(前期比160.9%増益)と大幅な増益となりました。

当期の期末配当につきましては、1株につき8円の普通配当に、特別配当2円を加え、1株につき10円をお支払いさせていただくことといたしました。

今後の見通しにつきましては、世界経済は好調に推移し、輸出の増加が続き、

さらに経済対策効果の顕在化により公共投資が増加し、緩やかな景気回復が続くと予想されます。

このような状況におきまして、当社は引続きコスト削減に注力するとともに、製品の競争力強化および新製品の早期上市に取組み、収益の改善に努めてまいります。

当社は、本年が創立100周年に当たります。次の100年に向けさらなる発展と成長を目指し、マルチプラント(CMⅢ)の新設、パンタエリスリトル事業の譲渡、大阪から千葉への生産拠点集約などさまざまな取組みを進めており、生産効率向上と高付加価値製品の生産能力拡充に向け精励する所存でございます。

また、今年度が2年目となる中期経営計画(2016年度～2018年度)に掲げた4つの基本方針〔(最終年度数値目標として)売上高200億円、営業利益率8%を回復〕、「拠点集約、新プラント稼動による生産効率向上と競争力強化」、「新製品および次世代製品に経営資源を積極的に投入」、「安全と信頼のモノづくりを徹底」の達成に向け、社員一丸となって鋭意努力してまいります。

次期の業績見通しといたしましては、売上高170億円、営業利益10億円、経常利益12億円、当期純利益50億円を見込んでおります。

当社が創立100周年を迎えることができましたのも、株主の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。株主の皆様におかれましては、なにとぞ事情ご賢察のうえ、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年6月

株主の皆さまへ P.1

部門別の概要 P.3

ファイン製品部門
化成品部門
次期業績予想

財務諸表 P.4

貸借対照表の要旨
損益計算書の要旨
要約キャッシュフロー計算書

財務ハイライト P.5

トピックス P.6

地域に貢献
次の100年に向けて
地域との共生

株式・会社情報 P.10

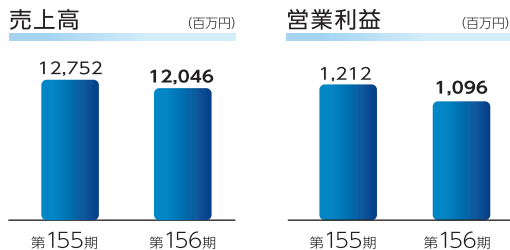
株式の状況
会社概要/役員

■ 部門別の概要 ■ 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

**ファイン製品
部門**

用途：医薬品、界面活性剤、
ゴム類、農薬、染料、溶剤、
接着剤等

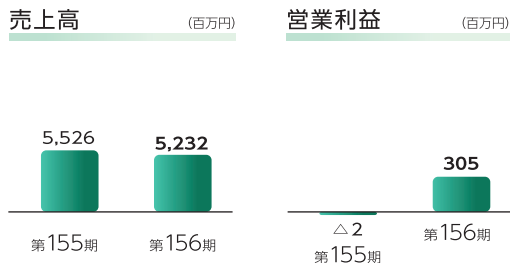
医農薬関連化学品は、アジア向け医薬中間体の販売が伸長しましたが、北米向け農薬中間体の出荷が大幅に減少しました。機能性化学品は、イオン液体の販売が減少し、減収となりました。その他ファイン製品は、関連業界の需要増加により、増収となりました。この結果、当部門の売上高は120億46百万円、営業利益は10億96百万円となりました。



**化成品
部門**

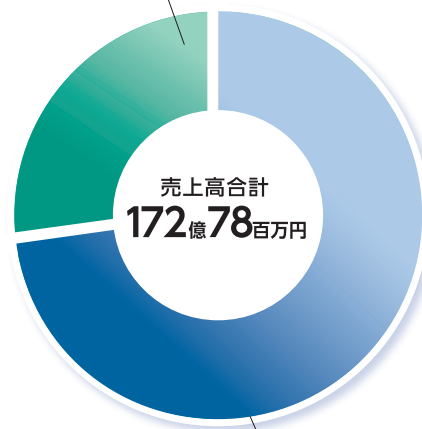
用途：接着剤、合成樹脂、塗料、
インキ、潤滑油、可塑剤等

多価アルコール類は、販売数量の増加はあったものの、原料価格の下落による販売価格の低下があり、減収となりました。この結果、当部門の売上高は、52億32百万円、営業利益は3億5百万円となりました。



化成品部門

30%
売上高52億32百万円



ファイン製品部門

70%
売上高120億46百万円

■ 次期業績予想 ■

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:百万円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
17,000	1,000	1,200	5,000

■ 貸借対照表の要旨 ■

(単位:百万円)

科目	当 期 平成29年 3月31日現在	前 期 平成28年 3月31日現在	科目	当 期 平成29年 3月31日現在	前 期 平成28年 3月31日現在
資産の部	23,969	20,740	負債の部	9,482	7,360
流動資産	11,252	11,006	流動負債	7,015	5,331
現金及び預金	307	552	買掛金	2,510	2,835
売掛金	4,917	4,654	短期借入金	1,840	1,140
商品及び製品	2,946	3,454	その他	2,665	1,356
仕掛品	880	791	固定負債	2,467	2,029
原材料及び貯蔵品	665	876	退職給付引当金	1,722	1,673
その他	1,535	676	その他	744	355
固定資産	12,716	9,733	純資産の部	14,487	13,379
有形固定資産	10,333	7,259	株主資本	13,049	12,110
建物	3,190	3,091	資本金	2,343	2,343
機械装置	1,757	1,944	資本剰余金	1,551	1,551
その他	5,385	2,223	利益剰余金	9,167	8,227
無形固定資産	49	62	自己株式	△11	△10
投資その他の資産	2,333	2,411	評価・換算差額等	1,438	1,268
資産合計	23,969	20,740	負債及び純資産合計	23,969	20,740

■ 損益計算書の要旨 ■

(単位:百万円)

科目	当 期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前 期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	17,278	18,279
売上原価	12,774	14,245
売上総利益	4,504	4,033
販売費及び一般管理費	3,102	2,823
営業利益	1,402	1,210
営業外損益	△11	△106
経常利益	1,390	1,104
特別損益	155	△441
税引前当期純利益	1,546	662
法人税等	410	227
当期純利益	1,135	435

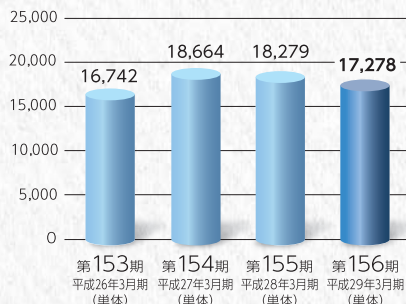
(注)1株当たり当期純利益 46円41銭 17円78銭

■ 要約キャッシュフロー計算書 ■

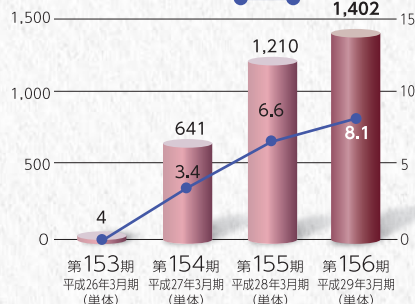
(単位:百万円)

科目	当 期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前 期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,337	2,535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,777	△1,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	491	△586
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△11
現金及び現金同等物の増減額	55	△21
現金及び現金同等物の期首残高	752	774
現金及び現金同等物の期末残高	807	752

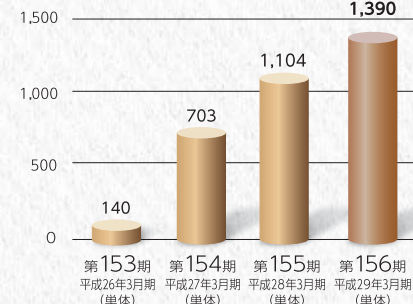
売上高 (百万円)



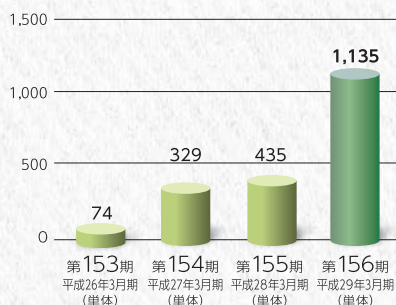
営業利益 (百万円) / 営業利益率 (%)



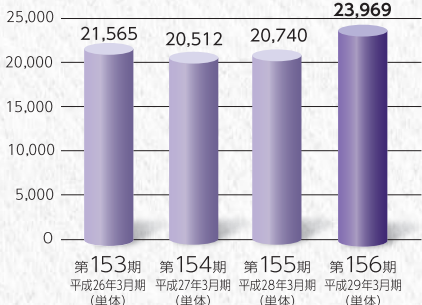
経常利益 (百万円)



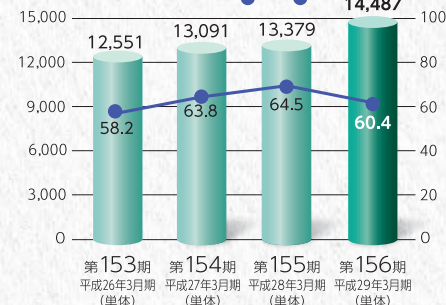
純利益 (百万円)



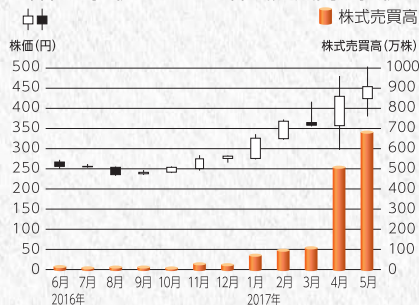
総資産 (百万円)



自己資本 (百万円) / 自己資本比率 (%)

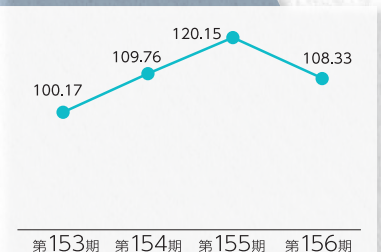


株価の推移

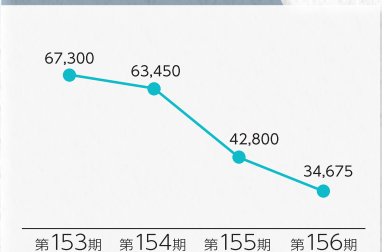


株式売買高の推移

平均為替レート (円/ドル)



ナフサ価格 (円/KL)



地域に貢献

【100周年記念事業】

袖ヶ浦市少年野球大会を後援

100周年記念事業の一環として、2017年3月19日(日)開催の第38回袖ヶ浦市少年野球春季大会を後援しました。当日の開会式では、参加チームの入場行進に続き、少年野球連盟会長の挨拶、出口袖ヶ浦市長の祝辞の後、当社から「当社は本年創立100周年を迎え、さらには千葉工場開設50周年の年に当たり、この記念すべき年に伝統ある少年野球大会に携わることができたことは、誠にありがたく悦ばしいことです」との挨拶を行いました。

大会は当日のほか25日(土)にも準決勝と決勝を行い、無事終了しました。また、小学校高学年を対象とした同大会だけでなく、春と秋に開催される低学年を中心とした「友遊ボール大会」も後援することになっています。

当社は今後ともこうした活動を通じて地域貢献を行ってまいります。



次の100年に向けて

2017年は、創立100周年にあたります。

それに伴い、液相反応の多目的プラント(CMⅢ)や事務所棟を新設いたしました。

CMⅢでは、次期中核事業として位置づけるイオン液体や有機金属触媒関連製品などを生産します。

また、イオン液体や有機金属触媒関連製品に続く新規分野の開拓に向けて、今後とも積極的な設備投資および生産能力拡充を図ります。

次の100年に向けて、次世代事業の拡大と主軸化を図り、さらなる発展と成長を目指してまいります。

※イオン液体は、耐熱性が高く、帯電防止を目的とした樹脂添加剤やメッキ溶剤などへの応用が見込まれています。当社は、イオン液体の生産・販売量、新製品開発力で世界ナンバーワンを目指します。



FOR THE NEXT 100 YEARS



大阪工場閉鎖について

当社は、1917年(大正6年)に広栄製薬株式会社として大阪・放出で誕生しました。創立以来、大阪放出工場を拠点に、多価アルコール類、ピリジジン塩基類、ピラジジン類、アミン類など各種の化学製品の製造販売を行い、広範囲にわたる社会のニーズにこたえてまいりました。

生産拠点を大阪から千葉へ集約することに伴い、2016年3月末に大阪工場での生産を終了し、2017年6月にその長い歴史に幕を下ろしました。



2015年7月
撤去工事着手前の工場風景



2017年6月
撤去工事が完了した全体風景



1



4

- ①千葉工場全体：製造プラントのほか倉庫、タンクヤード、研究棟および事務所棟などが約12万平方メートルに立ち並びます。
- ②③CMⅢ外観：イオン液体や有機金属触媒関連製品などを生産し、次の100年を牽引する可能性を秘める製品の製造を行います。
- ④事務所棟：工場および間接部門スタッフのほか食堂施設などの厚生施設も入り、社員全員が利用します。



3

地域との共生

当社は企業としての社会的責任を果たすべく、千葉県袖ケ浦市を中心に、さまざまなボランティア活動を行っております。たとえば、袖ケ浦市立長浦小学校にて毎年行っている「出前理科教室」では、当社の研究員を講師として、小学5年生を対象に化学の楽しさを伝える活動を行っております。

また、袖ケ浦市にある自然環境保全緑地「しいのもり」を整備する活動に、毎月約10名の社員が参加し、草刈り、清掃などの里山保全活動を行っております。

当社は、これからも地域環境の保全に注力するとともに、社会に貢献し、地域社会とともに発展する会社を目指して取り組みを進めてまいります。

出前理科教室



里山保全ボランティア



ペットボトルキャップの
収集ボランティア



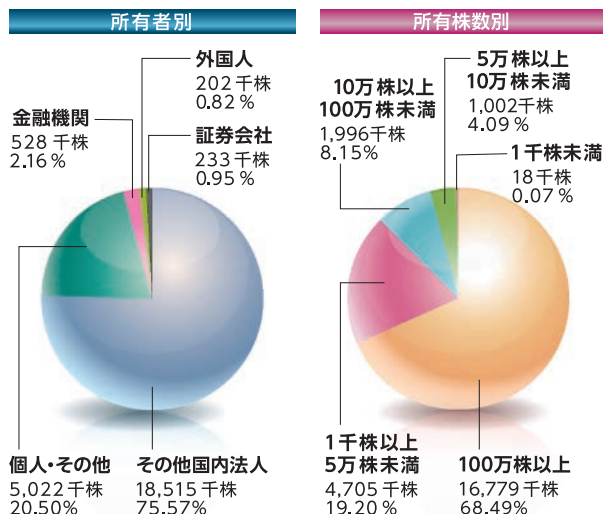
発行可能株式総数 80,000千株
発行済株式総数 24,500千株
株主数 1,371名

■ 大株主 ■

株主名	持株数	持株比率
住友化学株式会社	13,657千株	55.83%
塩野義製薬株式会社	1,671	6.83
武田薬品工業株式会社	1,451	5.93
田辺三菱製薬株式会社	561	2.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	295	1.21
広栄化学社員持株会	269	1.10
安谷屋 恵正	200	0.82
MSIP CLIENT SECURITIES	173	0.71
丸石化学品株式会社	168	0.69
住友精化株式会社	130	0.53

(注) 持株比率は、自己株式(39,880株)を控除して計算しております。

■ 株主分布状況 ■



■ 会社概要 ■ (平成29年3月31日現在)

設立 大正6年6月17日
資本金 23億43百万円
従業員数 302名
事業内容 医薬、農薬、塗料、染料、各種合成樹脂の原料・中間体の製造および販売他
事業所等 東京本社：東京都中央区日本橋小網町1番8号
千葉工場：千葉県袖ケ浦市北袖25番地
研究所：千葉県袖ケ浦市北袖25番地
ホームページアドレス <http://www.koeichem.com/>
証券コード 4367

■ 役員の一覧 ■ (平成29年6月23日現在)

代表取締役社長 津田 重典 取締役(常勤監査等委員) 吉崎 昌史
常務取締役 鵜殿 靖 社外取締役(監査等委員) 田中 誠一
取締役 佐々木万治 社外取締役(監査等委員) 瀧口 健
取締役 寒川公一朗 社外取締役(監査等委員) 東 英雄
取締役 石塚 郁夫
取締役 村上 修平
取締役 赤堀 金吾



「このシンボルマークは、「両手と分子模型」をデザインしたもので、化学物質を大切に扱うという趣旨を表しています。」

(注) 本報告書に記載しております数字は、金額については表示単位未満の端数を切り捨て、その他は四捨五入により表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
株主確定基準日	(1) 定時株主総会・期末配当 3月31日 (2) 中間配当 9月30日

その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、以下の電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネット ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 (URL) http://www.koeichem.com/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部

ホームページのご案内 [広栄化学](#) [検索](#)

<http://www.koeichem.com/>

ホームページにて最新のIR情報等をご覧いただけます。



100年の技術と信頼を明日へ



広栄化学工業株式会社

東京本社
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号
電話 (03) 6837-9300 (代表)

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



ミックス
責任ある不伐産物を
使用した紙
FSC® C013080

この報告書は、FSC®認証紙を使用
して印刷しています。